

もちつき

今日は、年に一度のお餅つき大会の日でした。**1年生**の学年行事です。お手伝いに 育友会執行部、育友会OBの方がたくさん来られて盛大に行われました。

育友会長さんが、この白い餅米がお餅になるんだよと説明されて、1年生の子は「え～」の歓声。蒸し上がった餅米が臼の中に入り、ぺったん、ぺったんとだんだんお餅になっていきます。つき手は、1年生のお父さんです。お餅つきで最も難しい水取りは育友会OB近藤さんです。子ども達の「よいしょ、よいしょ」というかけ声とともにお餅になりました。今度は、子ども達の出番です、一人二回ずつつきます。杵は子ども用の小さい軽い方ですが、子ども達には重そうです。何とか二回お餅に命中させ次の子にかかります。その間、どんどんお餅が冷めていくのが気がかりでなりませんでした。

できあがったおもちも、まるめて、一つ砂糖醤油でたべます。「おいしい」「おいしい」の言葉しか聞こえてきません。後のお餅はビニール袋に入れてもって帰ります。いいお土産ができました。

寒い日でしたが育友会のお母さんも、お父さんも、もちろん子ども達もみんな笑顔です。お餅つきは、なぜかみんなを笑顔にしてくれました。（教頭）

学び方がわかるということ

2年3組で大学の先生をお招きしての研究授業がありました。学年で長い間研究を重ねてきましたが、直前になって、大きく展開を変えて臨んだ授業でした。かなり勇気のいることでしたが、結果的にこれがとても良かったと思いました。

授業がどう進んでいくのかということについて、子どもたちは十分に見通しを持って臨んでいました。授業が始まってすぐに、ある子どもが言った「あ～、そのことが6の場面を読んでいくとわかるや。」という言葉がそれを物語っていました。進むべき方向がはっきりと示され、どのように学べいいのかということ子どもたちがよく理解しているので、意見交流も活発で、内容もなるほどと思わせるようなものがたくさんありました。

先生もがんばりました。子どもたちもう～んとがんばりました。国語の授業でしたが、他の教科もこんな感じで頑張ってもらいたいなあと思いました。

すごいっ 1

4年3組の教室のなかに先生がいません。シ～ンとしていて、鉛筆のカリカリという音だけが聞こえてきます。黒板には自習計画が書かれています。先生が出張なのです。すごいです。先生がいるからとか、誰かに見られているからとか、ぜんぜん関係ありません。

自分で自分を律する、『自律』ができています。4年生にしてできているのです。すごいっ！！

すごいっ 2

1年4組はかるた大会でした。自分たちでつくったかるたです。ちゃんとルールを守ってできていましたよ。でも、何がすごいかというと…「ゆ」と書いてある絵札が4枚もあるのです。自分が書きやすいものを書いたのでしょうか。思わず、微笑んでしまいました。お手つきの嵐かと思いきや、けっこう見極めて楽しんでいます。これまた、すごいっ！！と思いました。